
セキュアデータセンター インターネットご利用ガイド

Version 1.4

セコムトラストシステムズ株式会社

改訂履歴

版数	日付	内容
1	2012/5/28	第 1 版作成
1.1	2013/7/23	許可サービスの追加
1.2	2013/11/1	SDC 別館を追加
1.3	2017/1/5	SDC 別館（4F 南側）追加に伴い無線 LAN ネットワークへの接続方法を追加
1.4	2023/11/22	ルート CA 証明書の失効に伴い、Security Communication RootCA1 を Security Communication RootCA2 へ置換。 また、新しいルート CA 証明書のインポート手順を追加。 「Windows7 版」の表記を削除。

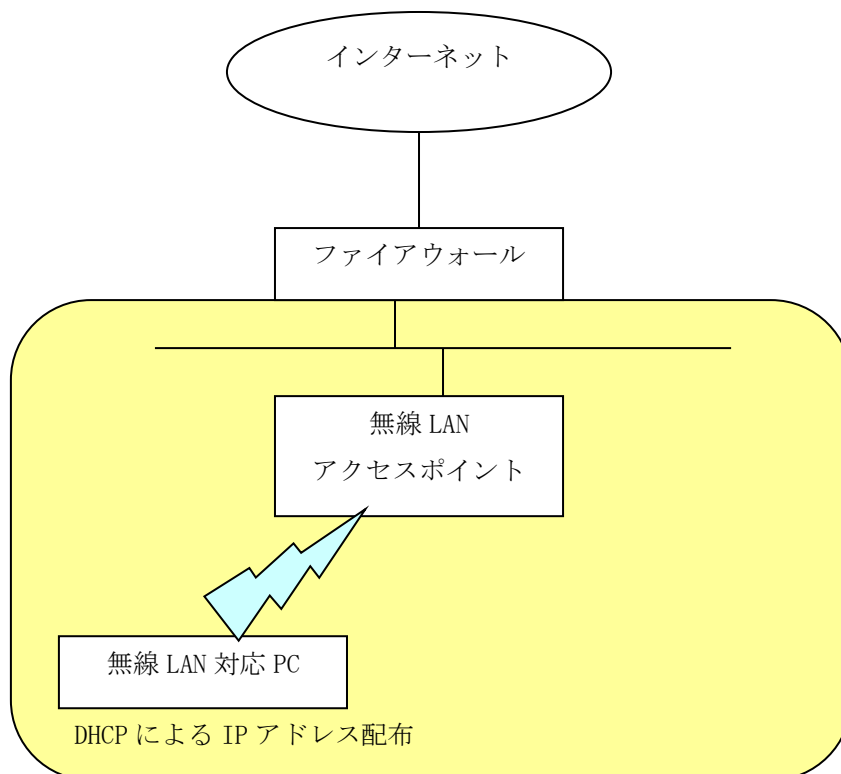
目次

1. はじめに	4
2. 構成概要	4
3. 前提条件	4
3-1. 無線 LAN 規格	4
3-2. 無線 LAN 認証規格	5
3-3. アカウント情報	5
3-4. ルート CA 証明書のインポート	5
4. 設定方法	6
5. 無線 LAN ネットワークへの接続方法	21
6. ファイアウォールにて許可している通信について	26

1. はじめに

本資料はセキュアデータセンター（以下、SDC）契約者向けに、新館 2F オープンスペース及び、別館 1F オープンスペースでのインターネット接続を利用するための PC 設定手順を述べたものです。本文中においては異なるバージョンの Windows にて取得した画像を用いて説明を行っておりますが、ご利用になられる OS バージョンに添う設定を行ってください。

2. 構成概要



3. 前提条件

新館 2F オープンスペース及び別館 1F オープンスペースでインターネットをご利用するための前提条件を記載します。

3-1. 無線 LAN 規格

利用できる無線 LAN の規格は「IEEE802.11a」または「IEEE802.11g」となります。

「IEEE802.11a」は 5GHz 帯を使用し、最大 54Mbps の伝送速度を実現した規格となります。「IEEE802.11g」は 2.4GHz 帯を使用し、最大 54Mbps の伝送速度を実現した規格と

なります。「IEEE802.11a」または「IEEE802.11g」対応の PC もしくは対応の無線 LAN カードを用意していただく必要があります。

「IEEE802.11a」、「IEEE802.11g」以外の規格のものはご利用できません。

3-2. 無線 LAN 認証規格

認証には「IEEE802.1x」規格で PEAP 方式を利用します。

PEAP とは米マイクロソフト社が開発した EAP 規格で ID とパスワードで認証する方式となります。SSL (Secure Sockets Layer) と同じ暗号化技術によって認証通信全体が暗号化されております。

PEAP を利用できる PC を用意していただく必要があります。

3-3. アカウント情報

インターネット接続には無線 LAN 認証情報(ユーザ名、パスワード)が必要となります。

認証情報は入退受付管理システム (Web) にて申請をすることで発行されます。

発行された認証情報は入館される期日のみ有効となります。

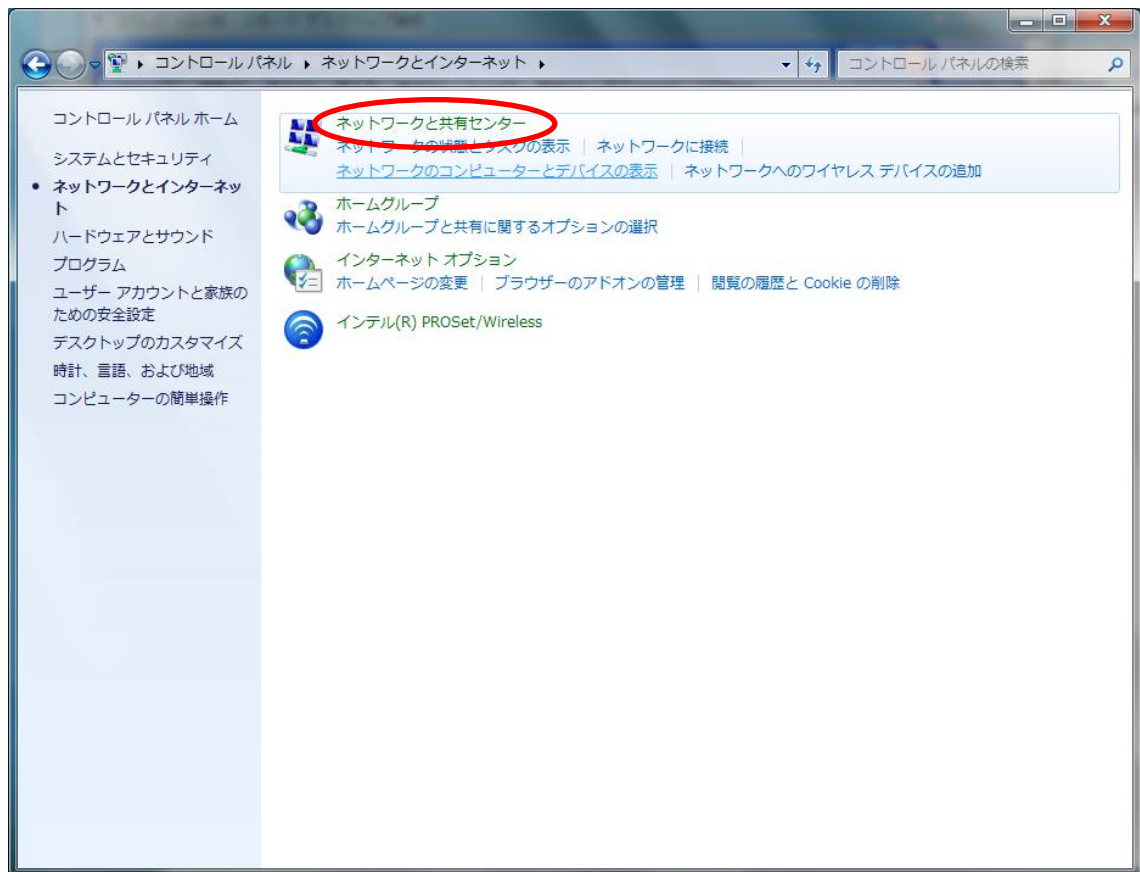
3-4. ルート CA 証明書のインポート

SDC へ来館していただく前に、あらかじめルート CA 証明書『Security Communication RootCA2』をインターネットに接続する端末へインポートしていただく必要があります。

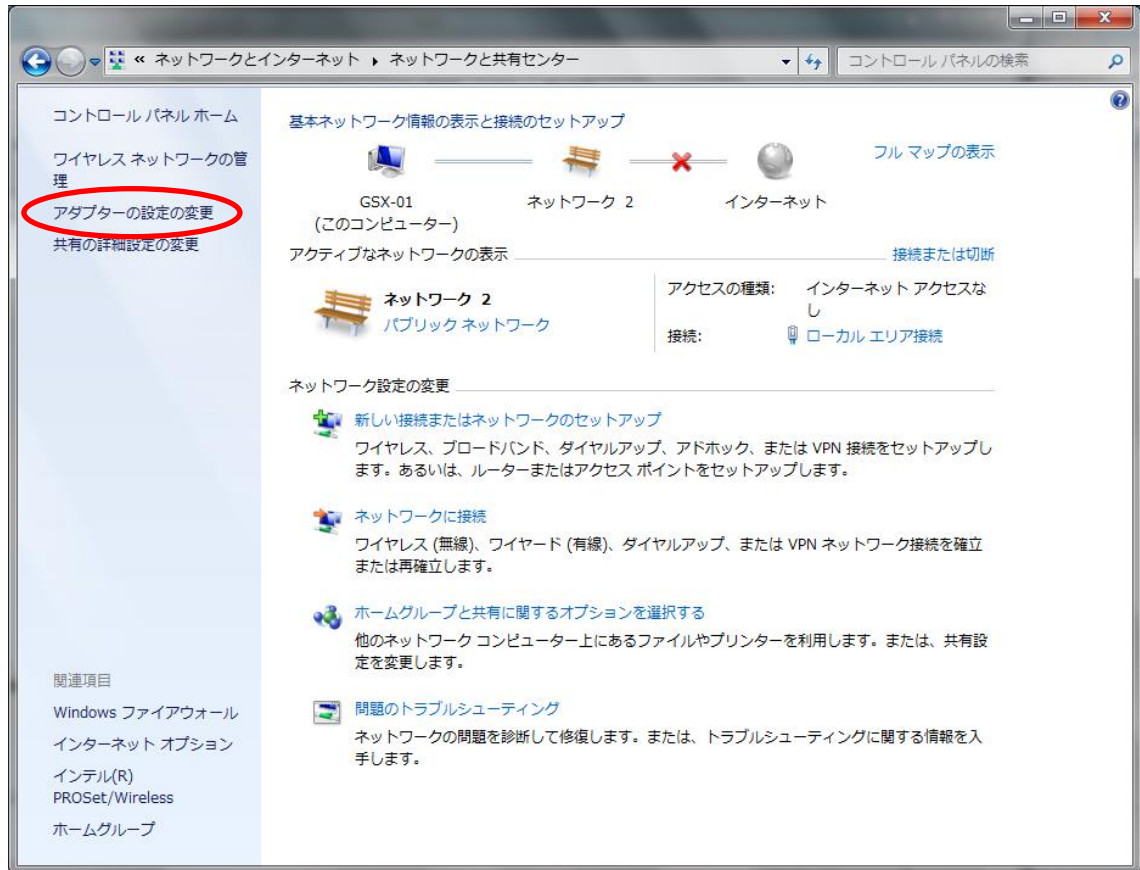
インターネット環境で <https://repository.secomtrust.net/SC-Root2/>へアクセスし、サイト内の「ルート CA 証明書インポート操作マニュアル」に従ってインポートしてください。

4. 設定方法

1. “スタート>コントロールパネル>ネットワークとインターネットを選択し、” ネットワークと共有センター “を選択します。

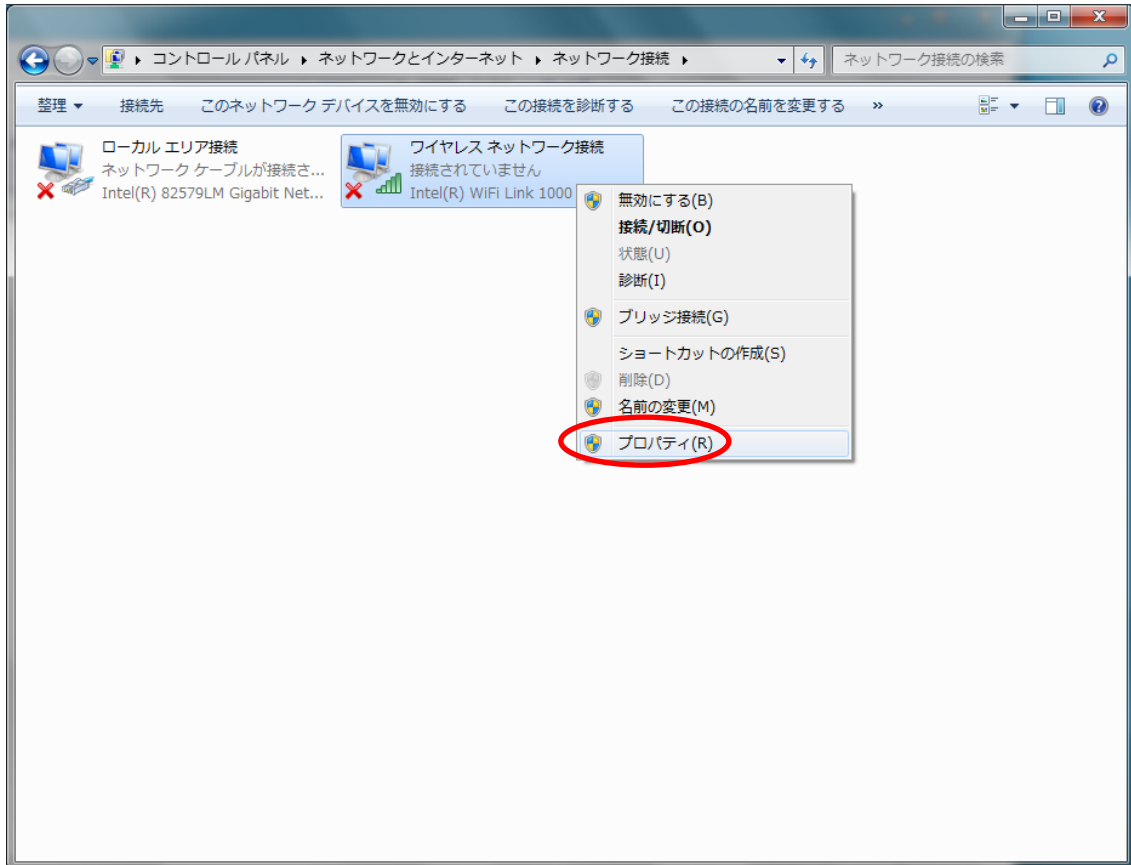


2. ネットワークと共有センターが表示されましたら、左側のメニューより“アダプターの設定の変更”を選択し。”ネットワーク接続“が表示されることを確認します。

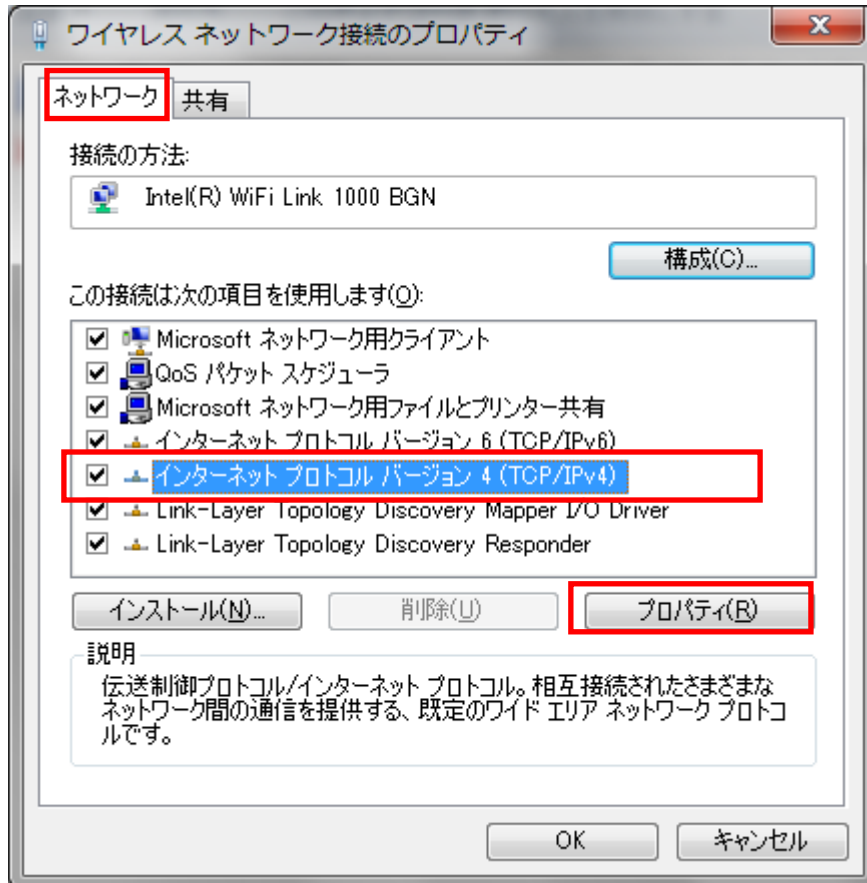


3. “ワイヤレス ネットワーク接続” を右クリックし[プロパティ]を選択します。

※ ワイヤレス接続が無効になっている場合は上記手順の前にワイヤレス接続を右クリックし[有効にする]を選択してください。

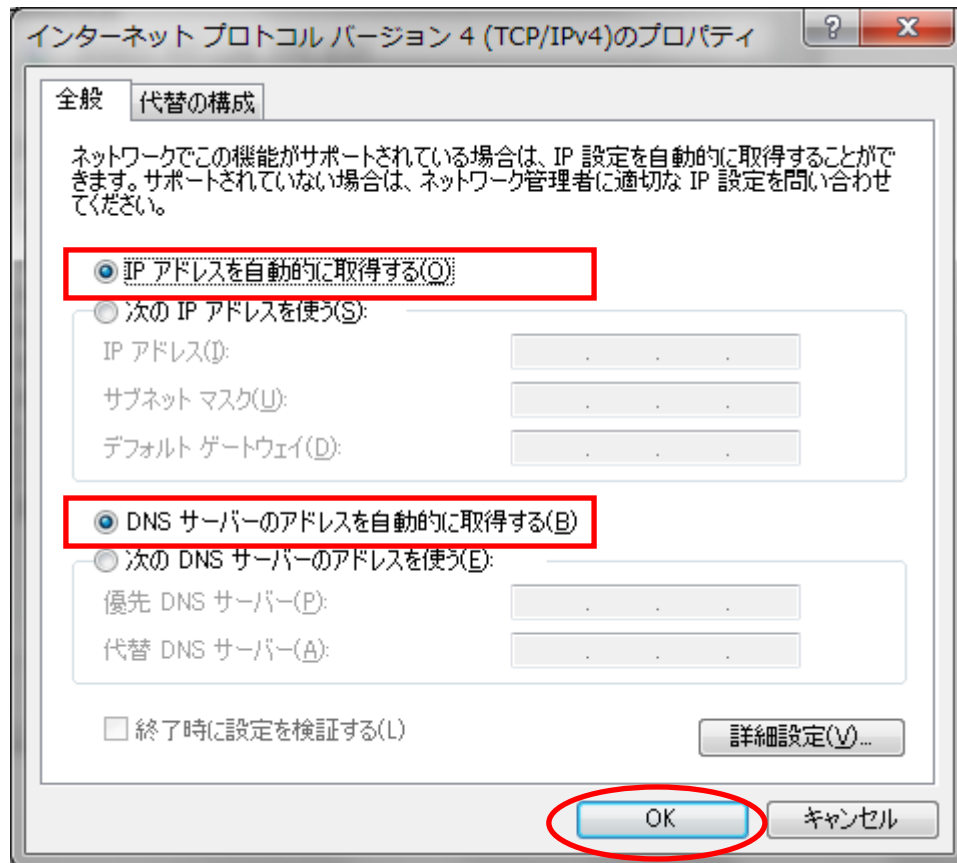


4. “ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ”が表示されますので“ネットワーク”タブの【インターネットプロトコル バージョン 4 (TCP/IP)】を選択し、【プロパティ】を押下します。

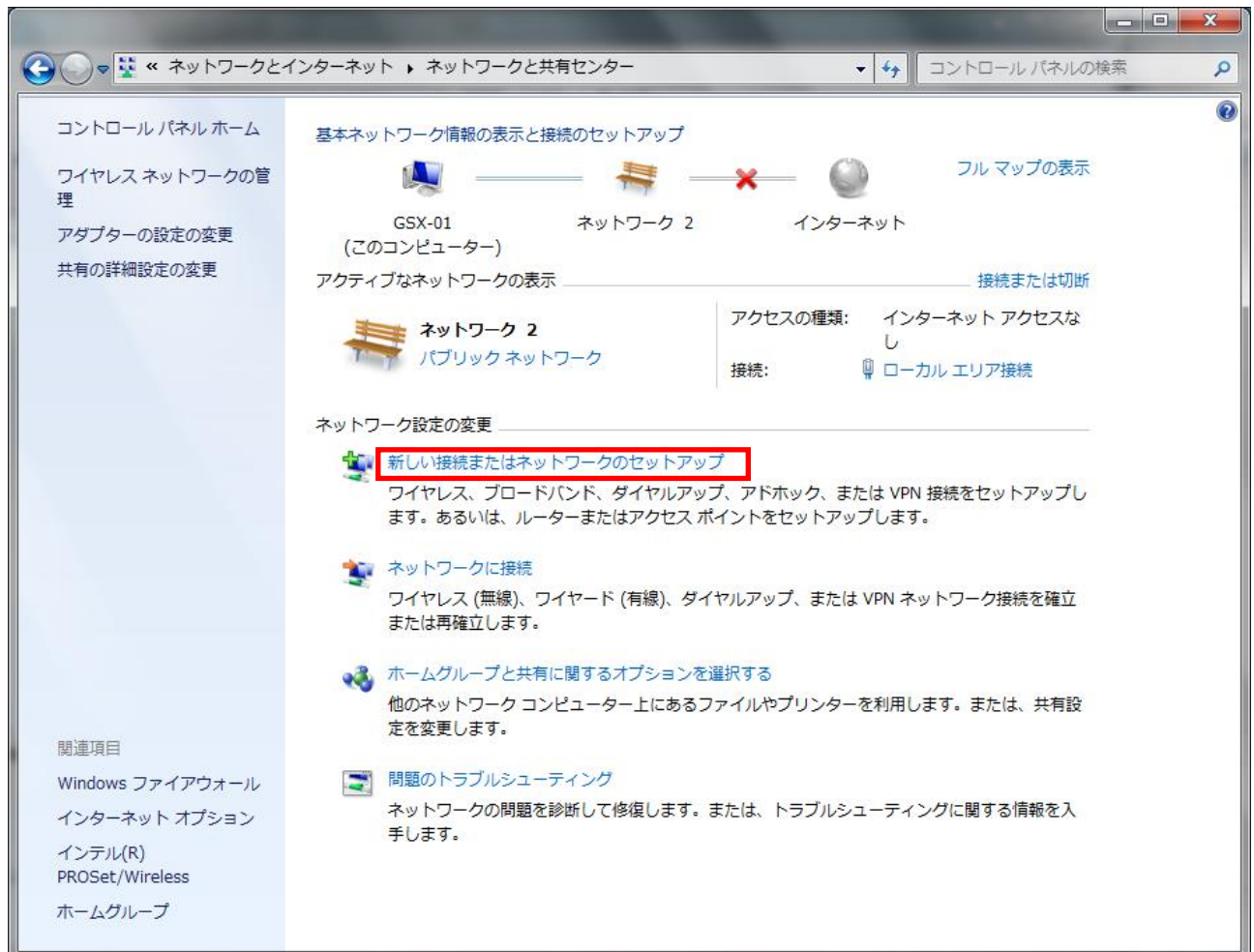


5. 【IP アドレスを自動的に取得する】，【DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する】が選択されていることを確認し、【OK】を選択します。

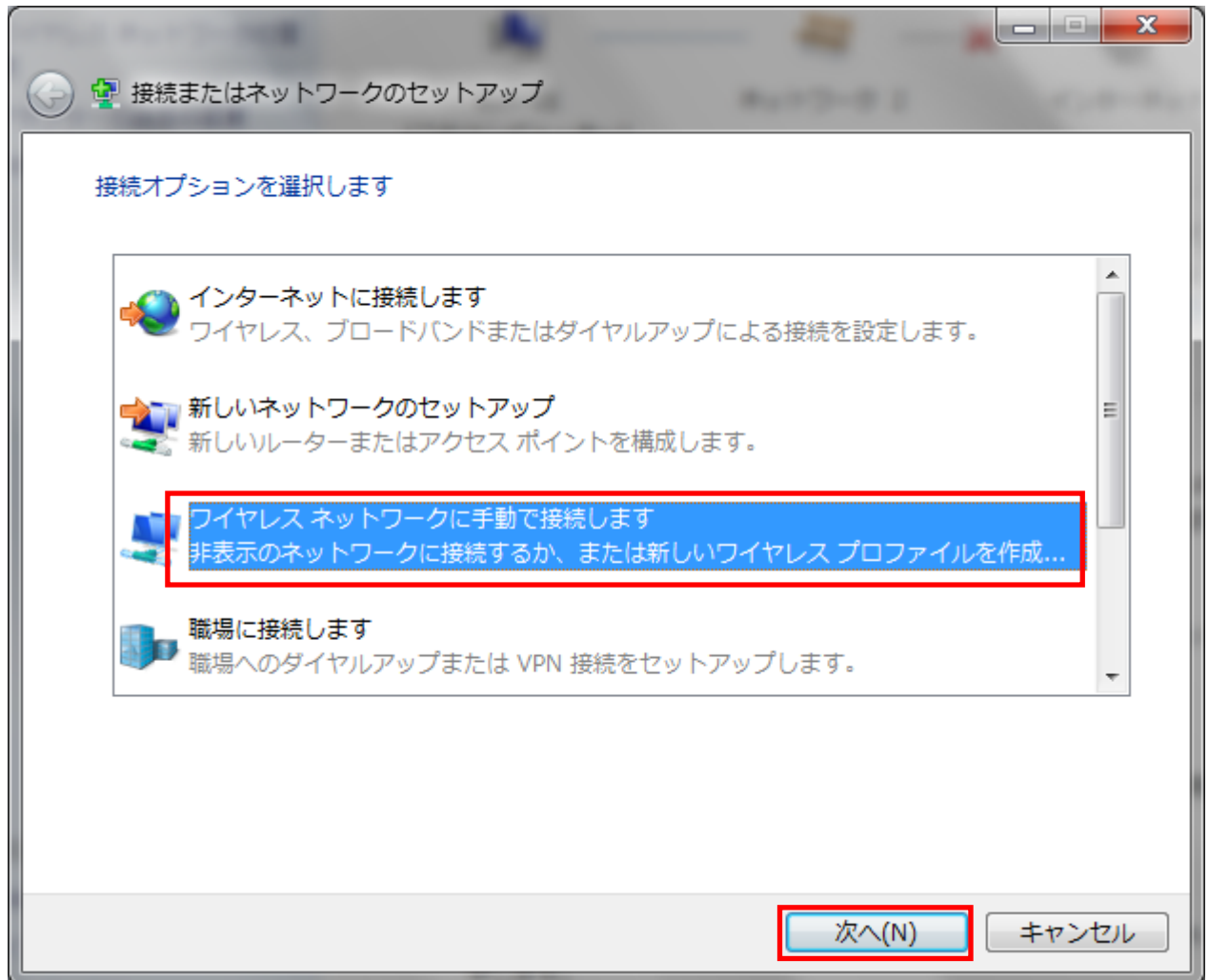
※ 【次の IP アドレスを使う】／【次の DNS サーバーの IP アドレスを使う】が選択されている場合は上記の通りの設定に変更を行ってください。



6. “スタート>コントロールパネル>ネットワークとインターネット>ネットワークと共有センター”を表示後、“新しい接続またはネットワークのセットアップ”を選択します。



7. “ワイヤレス ネットワークに手動で接続します”を選択し、“次へ”を押下します。



8. 各設定項目を以下の通りに変更し、“次へ”を押下します。

ネットワーク名	P@y7C4dy
セキュリティの種類	WPA2-エンタープライズ
暗号化の種類	AES

ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

追加するワイヤレス ネットワークの情報を入力します

ネットワーク名(E): P@y7C4dy

セキュリティの種類(S): WPA2-エンタープライズ

暗号化の種類(R): AES

セキュリティ キー(C): ☐ 文字を非表示にする(H)

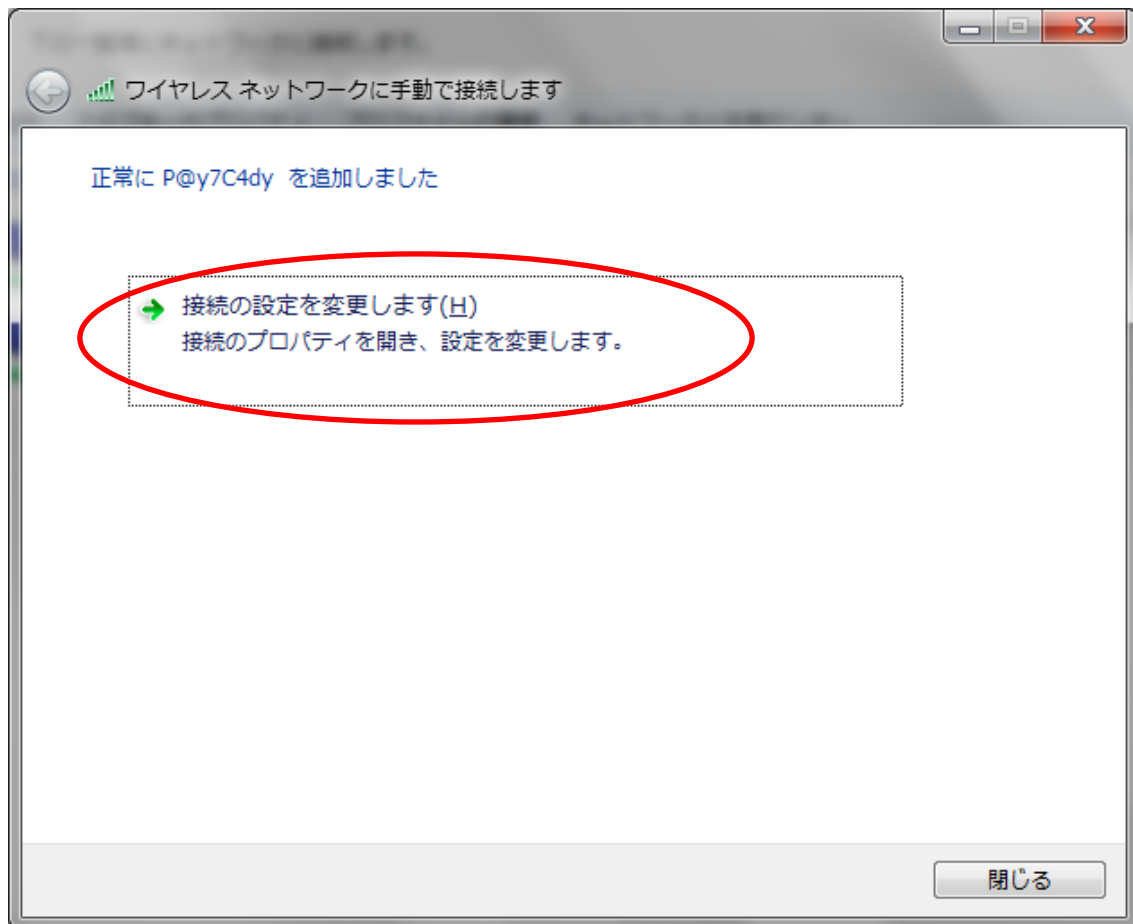
☒ この接続を自動的に開始します(I)

☐ ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する(Q)

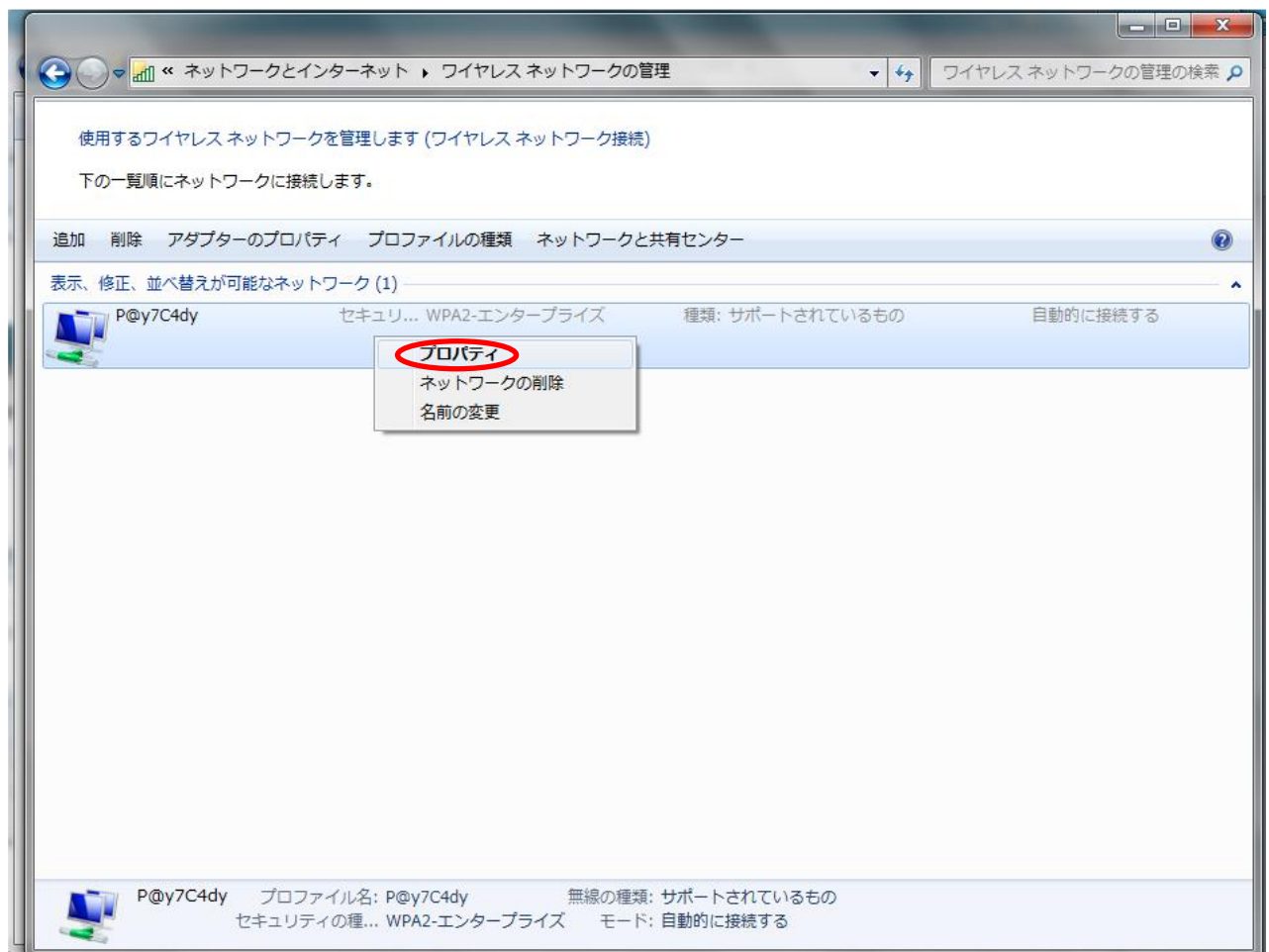
警告: 選択すると、このコンピュータのプライバシーが危険にさらされる可能性があります。

次へ(N) キャンセル

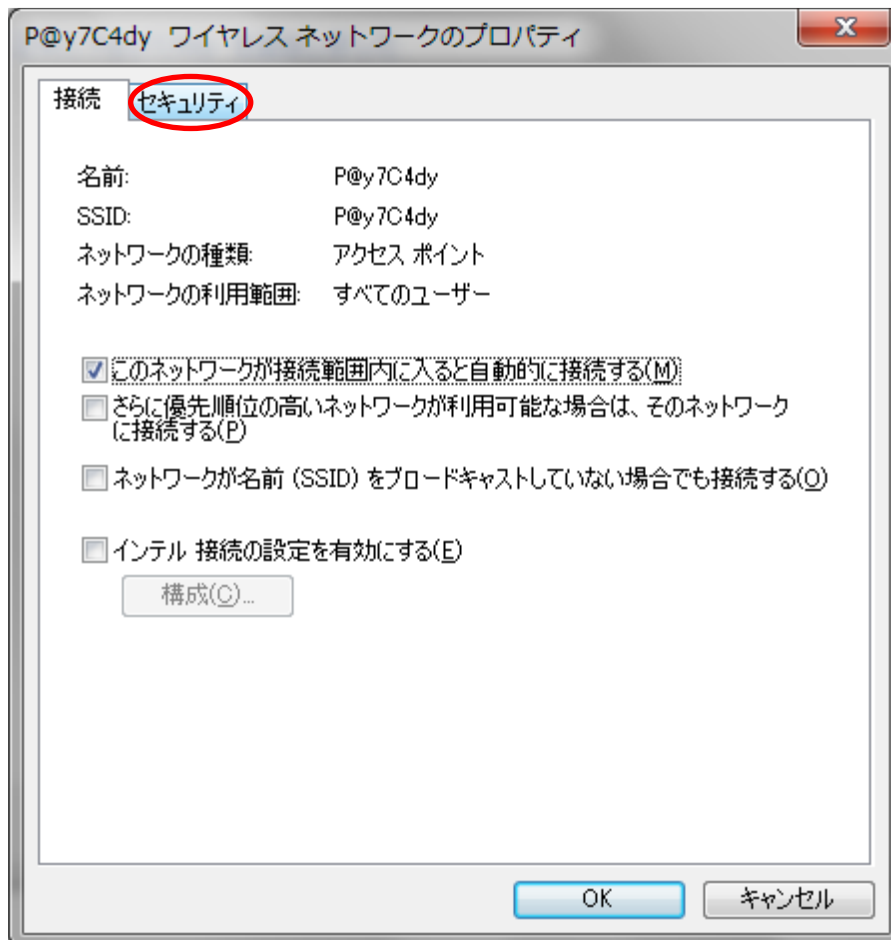
9. “正常に P@yC4dy を追加しました” の表示を確認し “接続の設定を変更します” を押下します。



10. “P@y7C4dy” を右クリックし、“プロパティ”を選択します。

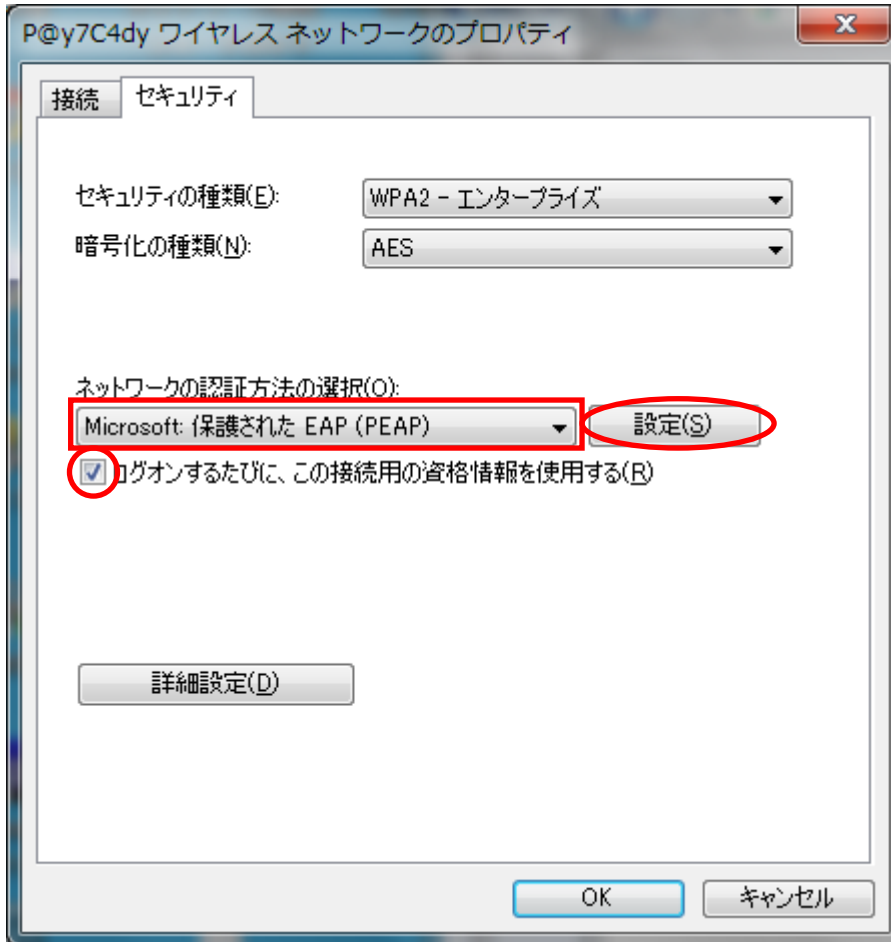


11. “P@y7C4dy ワイヤレスネットワークのプロパティ”が表示後、“セキュリティ”タブを選択します。



1 2. 各設定項目を以下の通りに設定を行った後、“設定”を押下します。

ネットワークの認証方法の選択	Microsoft 保護された EAP (PEAP)
ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する	チェックを付ける



13. 各設定項目を以下の通りに設定を行った後、“構成”を押下します。

サーバーの証明書を検証する	チェックを入れる
次のサーバーに接続する	チェックを入れ、以下を入力する wireless.secomtrust.net
信頼されたルート証明機関	Security Communication RootCA2 にチェックを入れる
Windows7: 新しいサーバーまたは信頼された証明機 関を承認…	チェックを外す
Windows10: 接続前の通知	「サーバー名またはルート証明書が指定さ れなかった場合にユーザーに通知します」を 選択
認証方法を選択する	セキュリティで保護されたパスワ ード (EAP-MSCHAP v2)
高速再接続を有効にする	チェックを入れる
ネットワークアクセス保護を強制する	チェックを外す
サーバーに暗号化バインドの TLV がない場合は…	チェックを外す
ID プライバシーを有効にする	チェックを外す

保護された EAP のプロパティ

接続のための認証方法:

☒ 証明書を検証してサーバーの ID を検証する(V)

☒ 次のサーバーに接続する (例: srv1、srv2、*%.srv3%.com)(O):

wireless.secomtrust.net

信頼されたルート証明機関(R):

- ☐ SecomTrustSystemsRootCA
- ☐ SecureTrust CA
- ☒ Security Communication RootCA2
- ☐ Starfield Class 2 Certification Authority
- ☐ Starfield Root Certificate Authority - G2
- ☐ Symantec Enterprise Mobile Root for Microsoft
- ☐ thawte Primary Root CA
- ☐ VeriSign Class 3 Public Root CA

接続前の通知(T):

サーバー名またはルート証明書が指定されなかった場合にユーザーに通知します

認証方法を選択する(S):

セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)

構成(C)...

☒ 高速再接続を有効にする(F)

☐ サーバーに暗号化バインドの TLV がない場合は切断する(D)

☐ ID プライバシーを有効にする(I)

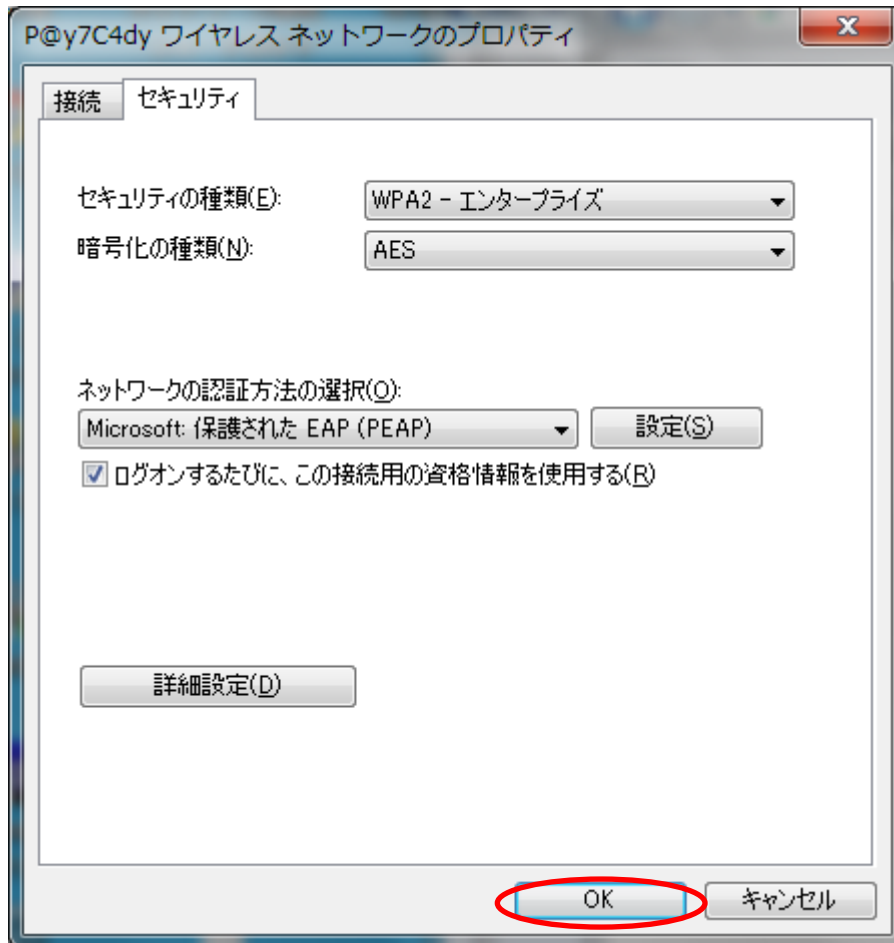
OK キャンセル

14. “EAP MSCHAPv2 のプロパティ”が表示されますので、設定を以下の通りに変更し、“OK”を押下します。

Windows のログオン名とパスワード（及びドメインがある場合は ...	チェックを外す
---------------------------------------	---------

15. “保護された EAP のプロパティ”が表示されますので、“OK” ボタンを押下します。

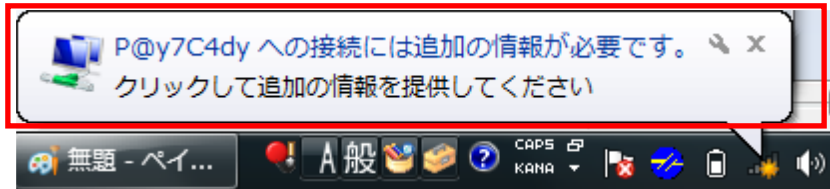
16. “P@y7C4dy ワイヤレスネットワークのプロパティ” 表示後、“OK” を押下します。



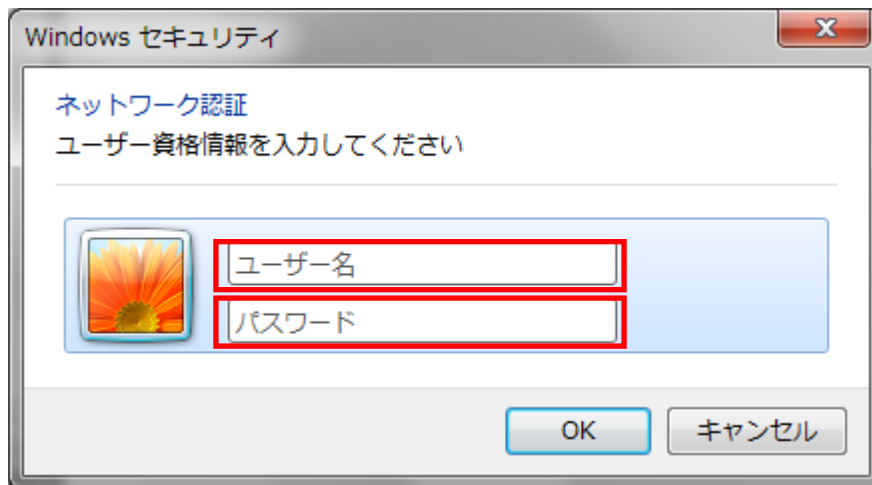
以上で、無線 LAN ネットワーク設定は完了です。

5. 無線 LAN ネットワークへの接続方法

1. 無線 LAN 利用可能エリアへ移動すると、タスクバーに追加情報を求めるバルーンが表示されるためクリックします。



2. ユーザ名/パスワードを求めるポップアップが表示されますので、ユーザ名/パスワードを入力し【OK】を押下します。



3. 正常にネットワーク接続が完了するとワイヤレスネットワークに接続した旨のバナーが表示されます。接続状況を確認する場合はタスクバーのアンテナのアイコンを押下すると、以下の通り接続状況が確認できます。

※ネットワーク接続が成功するとユーザ名/パスワードは PC 内部に保存されます。
次回以降はユーザ名/パスワードの入力画面は表示されず、自動的にネットワークへ接続します。



4. WEB ブラウザを起動し、WEB サイトが表示されることを確認してください。

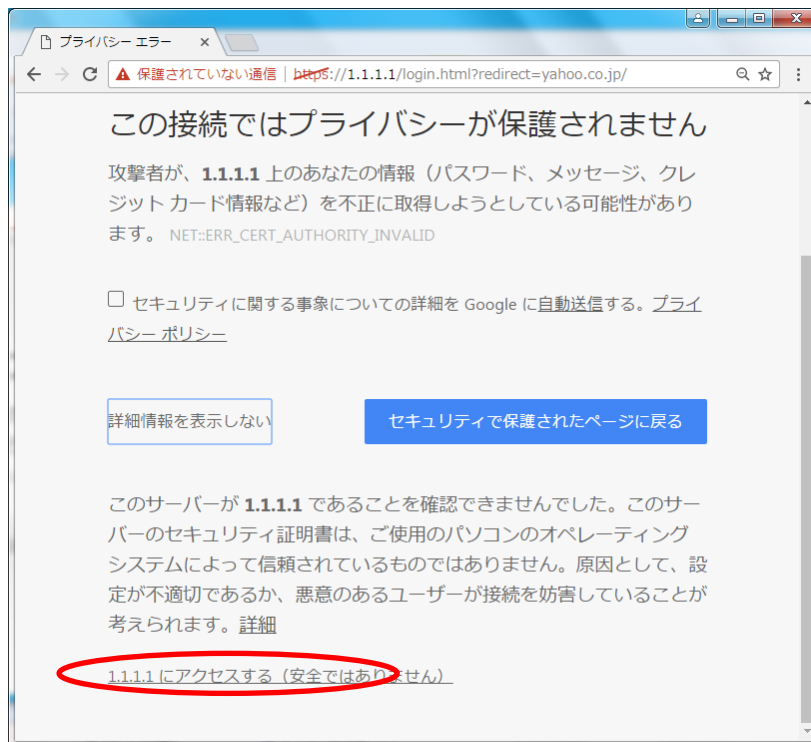
WEB サイトの表示をご確認いただけましたら、無線 LAN ネットワークへの接続完了となります。

※SDC 別館 4 F 南側での無線 LAN ネットワークへの接続の場合、WEB ブラウザによる WEB サイトの表示時にユーザ名/パスワードの入力を求める画面が表示される場合があります。

以下の手順で WEB サイトへ接続してください。

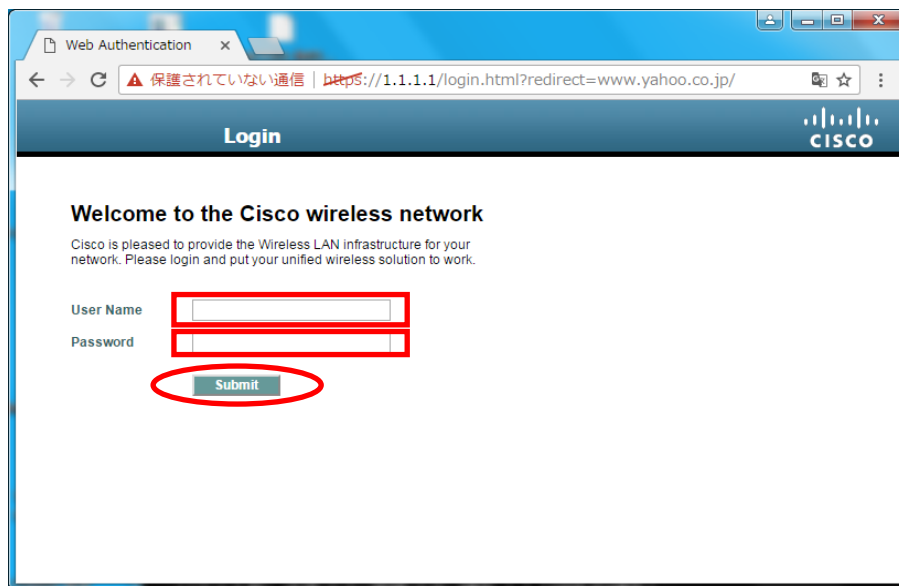


プライバシーエラー表示画面が出た場合、” 詳細設定 ” をクリックします。



” 1.1.1.1 にアクセスする ” をクリックします。

※1.1.1.1 は無線 LAN の認証サーバに設定された IP アドレスで SDC 外に接続するものでは
ございません。



Login 画面が表示されますので、ユーザ名/パスワードを入力し【Submit】をクリックします。



Web Authentication Login Successful の画面が短時間表示された後、WEB サイトに切替ります。WEB サイトが表示されることを確認してください。

6. ファイアウォールにて許可している通信について

インターネットと接続のファイアウォールにて許可している通信は以下の通りとなります。

ポート番号	TCP/UDP	サービス名	備考
53	TCP/UDP	DNS	
21/20	TCP	FTP	
80	TCP	HTTP	
443	TCP	HTTPS	
ANY	ICMP	ICMP-ANY	
110	TCP	POP3	
25	TCP	SMTP	
22	TCP	SSH	
10443	TCP		
465	TCP	SMTPS	
587	TCP		
993	TCP		
995	TCP		